



録画を配信

# 部活動の地域移行をどう進める

## 教育長 体制整備を検討する協議会を立ち上げる



竹田雅彦 議員

### 部活動の地域移行

令和5年度から7年度末をめどに、まずは休日の部活動から段階的に地域移行する提言が国より示された。

#### 課題と対応は

**問** 地域移行する際の課題と対応をどう考えているか。

**教育次長** 受け皿となる団体や指導者の確保が課題である。国や県の対応策を分析し、持続可能な取り組みとなるよう検証したい。

**問** 体制づくりをどう考えているか。

**教育長** 今年度中に体制整備に関する検討や準備を進めるための協議会を立ち上げる準備をしている。

#### 連携をどう取る

**問** 学校と地域の団体の連携をどう取るか。

**町長** ルール作りなど相当な時間をかける必要がある。人材の確保や、謝意をどう表すかなど、一つひとつ解決するよう学校と連携を



未来に向かってシュート

取り、教育委員会で具体的に動いていきたい。

#### 教育の質の向上は

**問** 地域移行は教師の働き方改革を推進し、学校教育の質を向上させるためでもあるが、所見はどうか。

**教育長** 部活動には2〜3時間、準備や後片付けを含めさらに多くの時間を割いている。地域移行すればその時間を教材研究や生徒指導などに充てることができ、教育活動が充実する。人材が発掘され地域の人づくりにもつながってほしい。3年かけて地域移行を切り上げたい。

#### 不登校児への支援 他職種との連携

**問** 福祉的支援や医療的支援が必要な際の連携はどうか。

**教育次長** 学校、教育委員会、教育相談員、スクールカウンセラーの連携の下で支援を行っている。健康福祉課との連携が必要な場合もあり、各種サービスや団体へつないでいる。

#### 未然防止と早期発見

**問** 未然防止と早期発見が重要。居場所づくりや絆づくりはどうか。

**教育次長** 学校生活の満足度や意欲などの測定テストを年2回実施し、居場所づくりに生かしている。また自治活動で集会などを行い絆づくりにつなげている。

#### チームアプローチ

**問** 学校がチームとしてどう取り組んでいるか。

**教育次長** 管理職や養護教諭、生徒指導や教育相談担当など複数で指導に当たったり、保護者への面談などの対応を行ったりしている。

#### 進路先との連携

**問** 中学校卒業後の社会的自立が大事。進路先との連携をどうしているか。

**教育次長** 進路について長期的に面談を行い、地元高校や通信制高校の情報提供を行っている。荒砥高校や白鷹高等専修学校に進学し、力を伸ばしたり、知識を身に着けたりした生徒も多い。魅力や特色を伝え新たな学びへつないでいきたい。